国立研究開発法人科学技術振興機構 令和元年度(2019 年度) 第 1 回契約監視委員会 議事要旨

開催日時: 令和元年 6 月 12 日(水)14:00～16:14

開催場所: 科学技術振興機構 東京本部 5 階 会議室 3

出席者: 青山委員長、石正委員、井上委員、奥委員、田中委員、徳永委員、柳澤委員、山口委員

説明者: 契約部長、契約調整課長、調達要求部署担当者

オブザーバー: 倉田副理事、監査・法務部長

事務局: 監査課長、監査課課員

○ 契約監視委員会規則第 6 条第 2 項の規定による構成委員の 2 分の 1 以上の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

【議事内容】

1. 平成 30 年度第 3 回契約監視委員会議事要旨確認

資料 3 に基づき、前回委員会(平成 31 年 3 月 1 日開催)の議事要旨の確認が行われた。

2. 平成 30 年度の契約状況および契約自己点検結果等について

資料 4 および資料 5 に基づき、契約部より報告があり、了承された。

3. 平成 30 年度調達等合理化計画の自己評価結果について

資料 6 に基づき、契約部より報告があった。目標の達成状況等の説明に一部補足を加えることで了承された。

4. 令和元年度調達等合理化計画の策定について

資料 7 に基づき、契約部より報告があり、了承された。

5. 平成 30 年度個別契約案件の点検について

○ 個別契約案件の点検

資料 8 および資料 9 に基づき、点検候補選定基準等により選定された4つの個別契約案件につ

いての点検が行われた。それぞれについてはとくに問題となるものはなかった。

主な質疑と応答は、以下のとおり。

案件①： NBDC システム RDF ストア用サーバー機器調達

（委員）1 者応札・応募になった理由をみると、「調達物が、既存の機器、システムおよびデータとの継続性・親和性・連接性の確保を条件として調達する必要がある場合に該当し、供給可能な者が限られる。」としているが、本機器調達については、以前もこの業者からの調達なのか。

（JST）入札の結果、前回導入したサーバーと同じ業者となった。

（委員）1 者応札・応募の理由として継続性があげられているが、一般に、この類のサーバー機器（ハードウェア）においては汎用性があると思われる。継続性の他に、なにか違う理由や原因があるのではないか。

（JST）前回落札した業者が安価で落札したので、他の業者が手を挙げなかった可能性がある。

（委員）今後は応募しなかった業者に対して、応募しなかった理由等の聴取を検討してほしい。

案件②： サイエンスポータル Web サイトのリニューアルにかかるコンテンツ管理システムの企画・設計業務

（委員）1者応札・応募になった原因について、要件に5000ページ以上の実績というものではなく、規模の実績はなくとも高い専門性を求めることで応札者を増やすような検討はされたのか。

（JST）小規模でも専門性を有する業者があるのではないか、どのくらいの費用がかかるかなどを知るために、事前に10社くらいにアプローチをしたがサイエンスポータルサイトが8000ページくらいあり構造も入り組んでいるためか、反応はよくなかった。

（委員）反応がよくなかったのは、コンサルティング業務だけでは魅力がないことの表れともいえる。必要に応じて業務内容を見直し、競争性が発揮されるような工夫を行うことも検討した方が良いと思われる。

案件③： 常設展示「計算機自然（仮）」展示空間　実施設計アドバイスおよび施工監修業務

（委員）本調達は、展示空間の基本設計業務についての少額随契による追加発注になっている。最初の発注においては競争性を有している。しかしながら、後から追加発注が行われると当然当初の業務を行った者にならざるをえない。そのため、追加発注が想定される場合は、最初の段階で、追加が想定される部分も合わせて発注する工夫が必要といえる。

（JST）当機構を含む国等の機関では予算の関係上、単年度契約が原則であり、複数年度に亘る契約を行う場合には一定の制約があることから、ご指摘のあった件も年度内に出来る範囲で契約したものであるが、今後類似の案件があった場合は、ご意見を踏まえて工夫ができないか検討していきたい。

（委員）今後類似の案件があった場合には、複数年度に亘る契約の可能性やその他の工夫ができないか検討するとともに、追加発注が生じてしまった場合にも十分に価格交渉を行うことが必要である。

案件④： 2019 年度さくらサイエンスハイスクールプログラム運営支援

※ 平成 30 年度第 1 回に点検した案件と同様の案件であり、そのフォローアップとして、前回の議論を踏まえて確認を行った。前回は 1 者応札・応募になったことに対して、準備期間を長目に設けるなどの改善提案があげられた。

（JST）平成 29 年度は入札説明会参加が 1 者、競争入札参加も 1 者であったので、複数者応札の実現のための工夫を行った。準備期間が短いことが競争参加の障壁にならないよう、準備期間を 2 ヵ月ほど前倒ししたところ、入札説明会参加は 4 者となった。結果的に競争入札参加は 1 者となってしまったが、次年度も引き続き、実施期間の設定といったような観点も考慮しつつ、工夫・検討をしていきたい。

（委員）特別な運営ノウハウが必要な業務であるとはいえ、金額面や多様な側面で魅力ある業務といえるので、より多くの応募が期待される。来年度に向けてなにか具体的な方策はあるのか。

（JST）まず、今回入札説明会に参加した 4 者に対してあらためて各社の状況についてより突っ込んだヒアリングを行う予定である。実施期間が年度の上期に偏っていたが、上期と下期とのバランスをとり宿泊先手配を容易にすることや、地方での展開を増やして地方に強い業者の参加を促すことも検討していきたい。

（委員）今後も競争性確保のための方策を継続して検討してほしい。

6. その他

⑴ 令和元年度調達等合理化計画、平成 30 年度の自己評価結果については、6 月末までにホームページで公開する。

⑵ 今年度の委員会の開催は、前年度と同様に、3 回の開催を予定している。次回は 10 月ぐらいの開催をめどに日程調整を行う。

【配付資料】

資料1　　契約監視委員会　委員名簿

資料2　　契約監視委員会規則

資料3　　議事要旨（平成 30 年度第 3 回契約監視委員会）

資料4　　平成 30 年度契約状況について

資料5－1　平成 30 年度契約自己点検結果等について

資料5－2　点検項目表（自主点検・チェック用）

資料6　　平成 30 年度調達等合理化計画自己評価結果（公表資料案）

資料7　　令和元年度調達等合理化計画（案）

資料8－1　点検候補契約案件一覧（1 者応札・応募）

資料8－2　点検候補契約案件一覧（競争性のない随意契約）

資料8－3　点検候補契約案件一覧（少額随契）

資料9－1　個別契約案件一覧（点検案件のみ）

資料9－2　点検案件①（1 者応札・応募）

資料9－3　点検案件②（1 者応札・応募）

資料9－4　点検案件③（少額随契）

資料9－5　フォローアップ案件④（1 者応札・応募）

参考1　　点検候補選定基準（1 者応札・応募、競争性のない随意契約）

参考2　　点検の視点（少額随契）